

2018年3月20日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

全国小企業月次動向調査(2018年2月実績、3月見通し)

[概況] 小企業の売上DIは、マイナス幅が拡大
～3月はマイナス幅が縮小する見通し～

1 売上

2018年2月の売上DIは、1月(▲10.7)からマイナス幅が2.0ポイント拡大し、▲12.7となった。3月は、▲4.1とマイナス幅が縮小する見通しとなっている。

業種別にみると、製造業(▲10.3→▲21.1)、非製造業(▲11.1→▲13.1)ともにマイナス幅が拡大した。3月は、製造業で▲14.0、非製造業で▲3.0と、ともにマイナス幅が縮小する見通しとなっている。

2 採算

2018年2月の採算DIは、1月(4.5)から3.8ポイント低下し、0.7となった。3月は、8.1と上昇する見通しとなっている。

3 雇用

従業員過不足DIは、20.9となった。業種別にみると、建設業が36.5と最も高く、次いで運輸業(28.6)、飲食店(23.2)の順となっている。

従業員の給与水準が1年前と比べて「上昇」と回答した企業割合は、26.5%となった。

<調査の要領> 調査時点 2018年3月1日～5日
調査対象 当公庫取引先 1,500企業(調査対象の企業規模は裏面のとおりに)
有効回答企業数 1,305企業
回答率 87.0%

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:長沼、藤井)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

調査対象の企業規模

製 造 業（従業者 20 人未満）

卸 売 業（ 同 10 人未満）

小 売 業（ 同 10 人未満）

飲 食 店（ 同 10 人未満）

サービス業（ 同 20 人未満）

建 設 業（ 同 20 人未満）

運 輸 業（ 同 20 人未満）

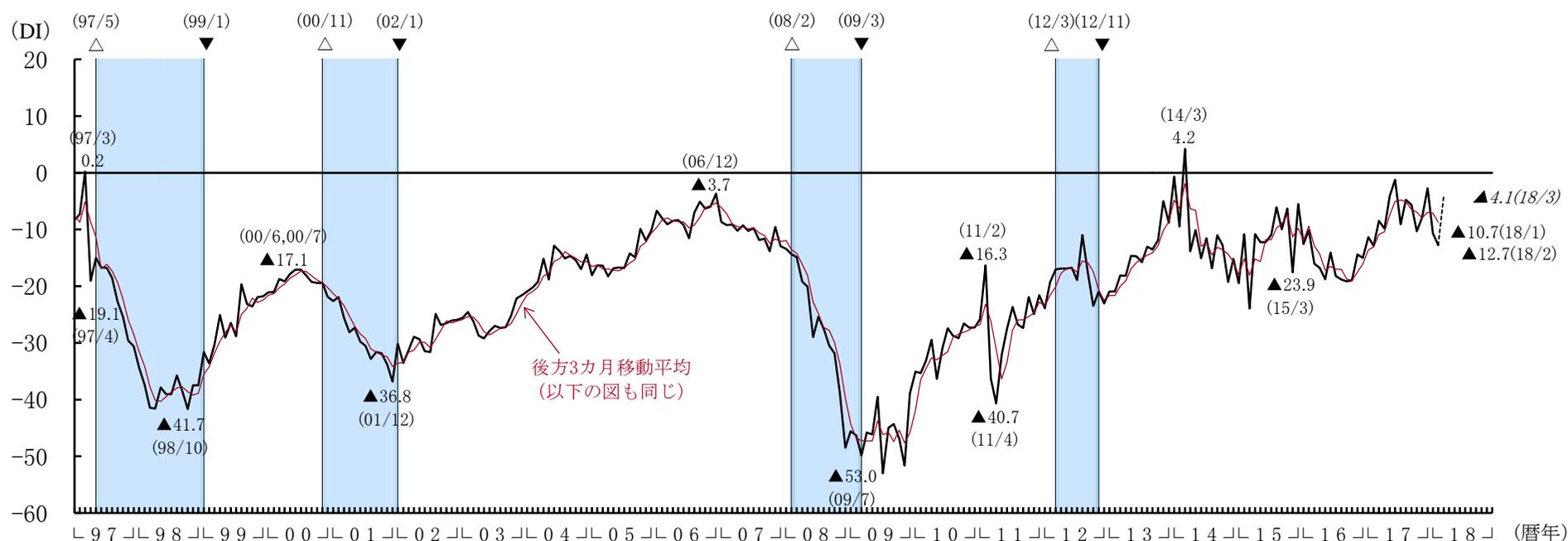
※総務省「経済センサス」における業種および地域構成に合うように、
データにウェイトづけを行っている。

1 売上

- 2月の売上DIは、1月からマイナス幅が2.0ポイント拡大し、▲12.7となった。3月は、▲4.1とマイナス幅が縮小する見通しとなっている。
- 業種別にみると、製造業(▲10.3→▲21.1)、非製造業(▲11.1→▲13.1)ともにマイナス幅が拡大した。3月は、製造業で▲14.0、非製造業で▲3.0と、ともにマイナス幅が縮小する見通しとなっている。
- 非製造業では、建設業と運輸業を除く全ての業種でマイナス幅が拡大している。3月は、建設業と運輸業を除く全ての業種で上昇する見通しとなっている。

図-1 売上DIの推移（全業種計、季節調整値）

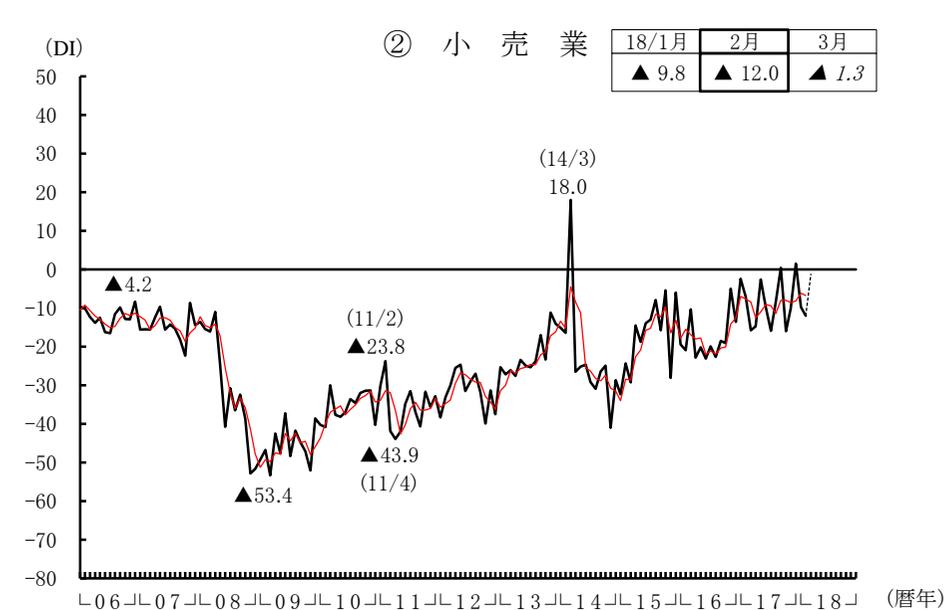
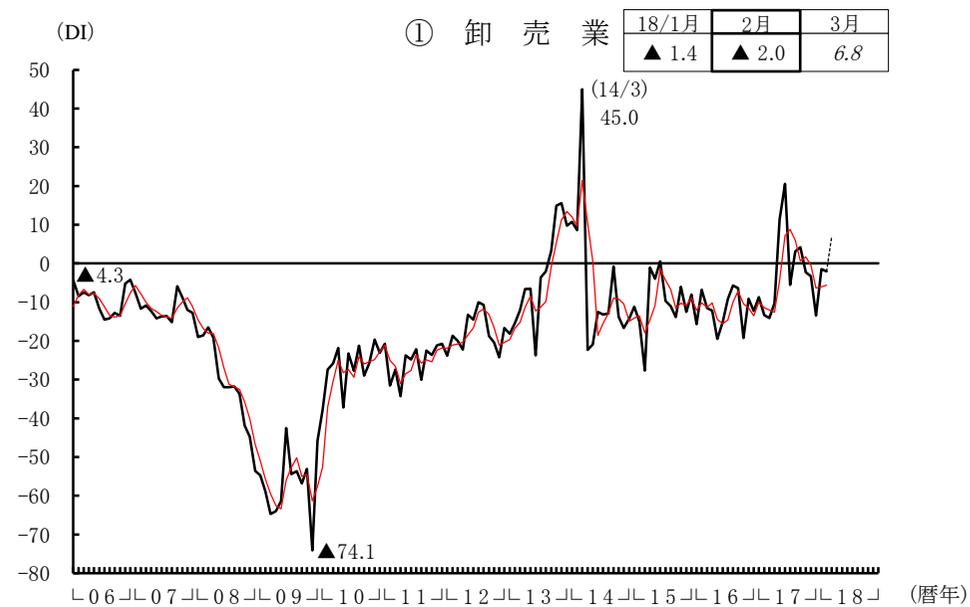
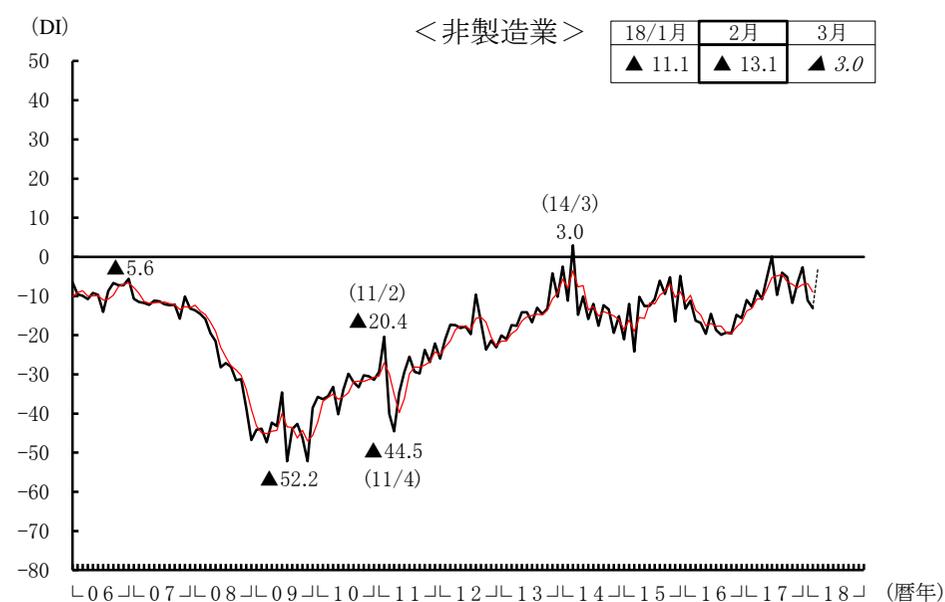
	2017/2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018/1月	2月	3月
実績	▲12.9	▲8.5	▲9.8	▲4.1	▲1.3	▲9.1	▲4.8	▲5.7	▲10.3	▲7.9	▲2.7	▲10.7	▲12.7	-
見通し	▲3.3	▲6.8	▲3.0	▲4.5	▲0.6	▲0.4	▲2.2	▲1.6	▲0.2	▲0.1	▲1.7	0.2	0.4	▲4.1



(注) 1 DIは前年同月比で「増加」企業割合－「減少」企業割合。

2 ——— は実績、 - - - - - は見通し。斜体は見通しの値を示す。△は景気の山、▼は景気の谷、シャド一部分は景気後退期を示す（以下同じ）。

図－２ 業種別売上DIの推移（季節調整値）



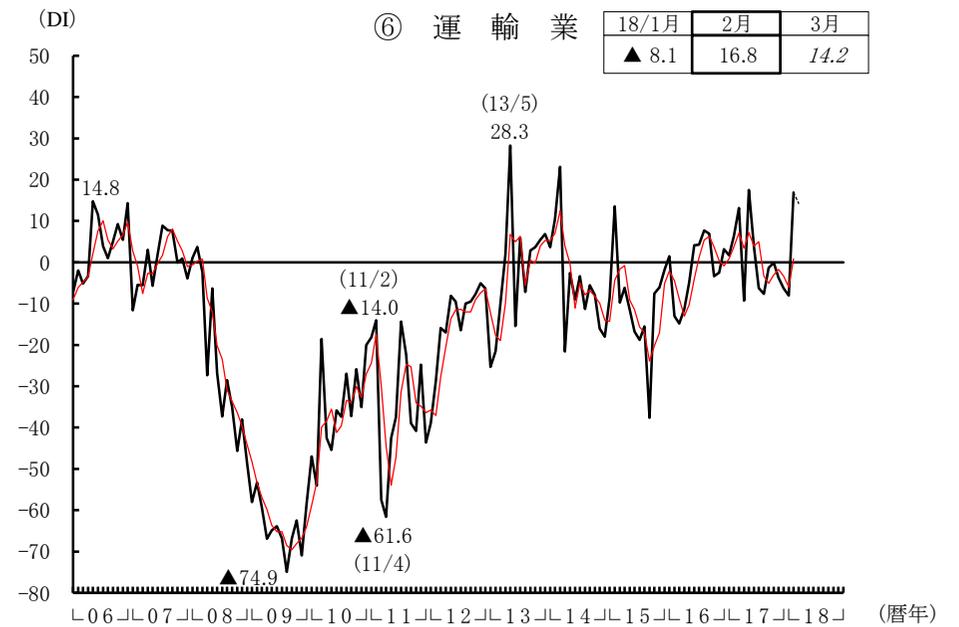
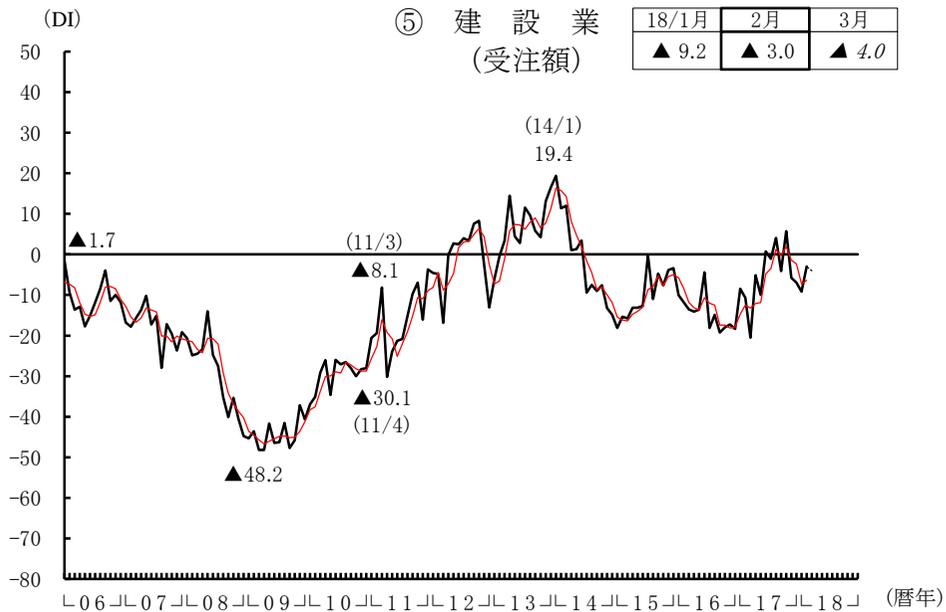
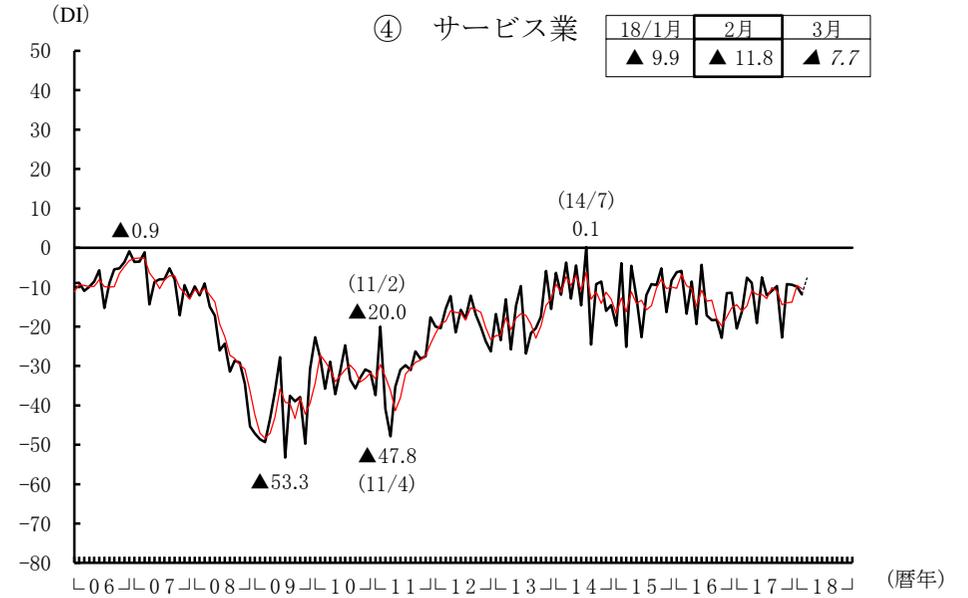
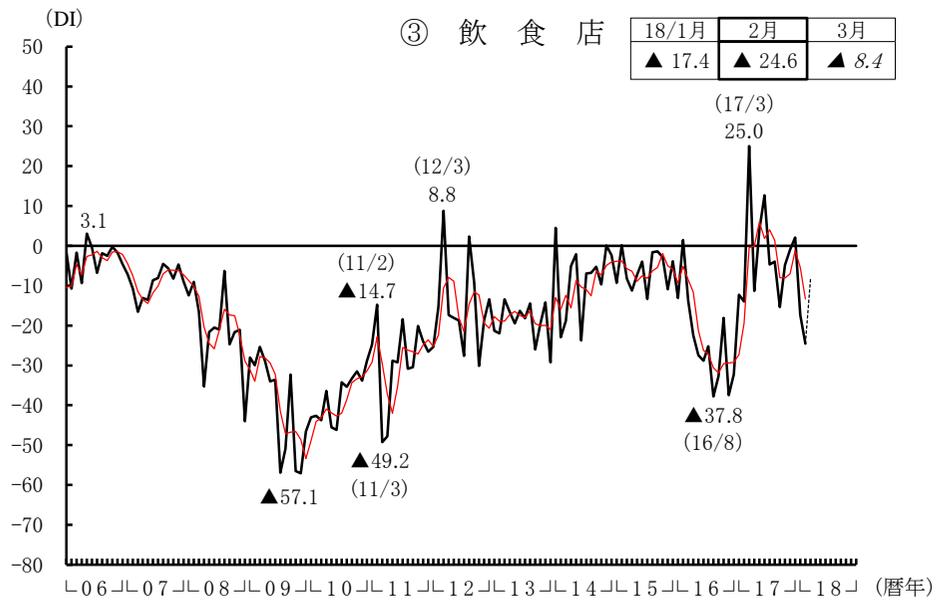


表 業種別売上DIの推移（季節調整値）

（見通し）

	2016年 9月	10月	11月	12月	2017年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018年 1月	2月	3月	
製造業	▲15.8	▲14.6	▲2.1	▲10.6	▲16.8	▲23.7	▲4.7	▲0.7	1.2	▲11.5	▲5.2	▲10.1	▲6.7	0.3	▲6.9	▲4.2	▲10.3	▲21.1	▲14.0	製造業
金属・機械	▲5.0	▲0.6	▲2.2	11.5	▲10.2	▲9.0	▲2.8	6.6	5.6	▲1.7	▲2.9	▲1.3	1.9	8.3	▲3.0	7.1	▲1.8	▲10.3	▲10.8	金属・機械
その他製造	▲29.8	▲26.0	▲6.5	▲25.4	▲22.4	▲34.8	▲4.9	▲4.3	▲2.8	▲18.2	▲7.4	▲20.3	▲19.4	▲5.8	▲14.3	▲9.8	▲17.4	▲28.8	▲9.4	その他製造
非製造業	▲19.3	▲19.6	▲14.8	▲15.6	▲11.0	▲12.8	▲8.6	▲10.8	▲5.0	0.1	▲9.7	▲4.1	▲5.1	▲11.8	▲6.7	▲2.7	▲11.1	▲13.1	▲3.0	非製造業
①卸売業	▲6.4	▲19.2	▲9.1	▲12.3	▲8.7	▲13.4	▲14.1	▲10.2	11.3	20.6	▲5.5	3.1	4.2	▲2.3	▲3.3	▲13.4	▲1.4	▲2.0	6.8	①卸売業
織・衣・食	▲8.1	▲26.8	▲25.0	▲32.8	▲32.0	▲33.8	▲30.2	▲30.5	7.1	9.7	▲8.5	3.9	▲7.1	▲6.1	▲14.6	▲9.4	5.1	▲6.1	3.9	織・衣・食
機械・建材	▲4.6	▲15.8	▲1.2	4.2	6.1	0.4	1.4	1.9	19.3	28.5	▲4.1	2.0	12.9	▲1.7	1.0	▲14.6	▲6.7	0.3	12.9	機械・建材
②小売業	▲18.5	▲19.1	▲5.0	▲13.6	▲2.4	▲7.1	▲15.8	▲14.8	▲2.6	▲9.8	▲16.0	▲8.5	0.4	▲16.0	▲10.1	1.4	▲9.8	▲12.0	▲1.3	②小売業
耐久消費財	▲11.3	▲17.9	▲7.3	▲13.1	▲19.7	▲19.1	▲9.0	▲2.6	▲11.5	▲7.8	▲3.4	▲4.1	10.2	▲17.2	▲9.8	3.6	▲5.0	▲15.7	▲10.6	耐久消費財
非耐久消費財	▲19.9	▲19.6	▲1.3	▲14.8	1.4	▲4.1	▲20.9	▲16.7	▲1.8	▲9.8	▲18.0	▲9.2	▲1.6	▲16.1	▲6.7	▲0.2	▲10.2	▲10.5	0.9	非耐久消費財
③飲食店	▲32.7	▲18.1	▲37.4	▲32.2	▲12.2	▲14.0	25.0	▲11.3	4.1	12.7	▲4.7	▲3.9	▲15.3	▲4.9	▲1.0	2.1	▲17.4	▲24.6	▲8.4	③飲食店
④サービス業	▲18.3	▲22.8	▲11.5	▲11.4	▲20.5	▲16.3	▲7.6	▲8.9	▲19.1	▲7.5	▲12.1	▲10.9	▲9.8	▲22.8	▲9.3	▲9.4	▲9.9	▲11.8	▲7.7	④サービス業
事業所向け	▲15.0	▲10.7	▲0.2	▲17.6	▲18.1	▲13.1	▲11.2	▲13.1	▲7.4	▲6.4	▲17.3	▲6.1	▲17.9	▲12.4	▲3.3	4.4	6.3	▲0.7	▲4.9	事業所向け
個人向け	▲20.4	▲27.3	▲15.0	▲10.6	▲22.1	▲14.3	▲7.3	▲9.1	▲23.6	▲6.4	▲8.3	▲11.6	▲8.5	▲26.9	▲11.1	▲14.8	▲15.9	▲12.2	▲8.9	個人向け
⑤建設業	▲19.2	▲18.0	▲17.3	▲18.4	▲8.4	▲10.7	▲20.5	▲5.1	▲9.9	0.7	▲1.0	4.1	▲4.1	5.7	▲5.8	▲6.9	▲9.2	▲3.0	▲4.0	⑤建設業
⑥運輸業	6.9	▲3.4	▲2.5	3.2	1.7	6.3	13.2	▲9.3	17.5	3.7	▲6.2	▲7.6	▲1.3	▲0.1	▲3.7	▲6.3	▲8.1	16.8	14.2	⑥運輸業
道路貨物	13.5	3.2	▲3.3	5.2	1.5	4.2	14.9	▲8.2	19.5	6.9	▲4.6	▲2.5	0.5	▲1.1	▲4.4	▲7.3	▲3.8	19.5	20.9	道路貨物
個人タクシー	▲9.2	▲36.6	▲7.2	▲4.9	▲3.0	11.5	7.2	▲3.5	8.8	▲4.9	▲10.3	▲34.3	▲0.3	▲3.7	▲11.0	▲2.4	▲36.7	0.2	▲16.2	個人タクシー
全業種計	▲19.2	▲18.9	▲14.4	▲15.0	▲11.3	▲12.9	▲8.5	▲9.8	▲4.1	▲1.3	▲9.1	▲4.8	▲5.7	▲10.3	▲7.9	▲2.7	▲10.7	▲12.7	▲4.1	全業種計

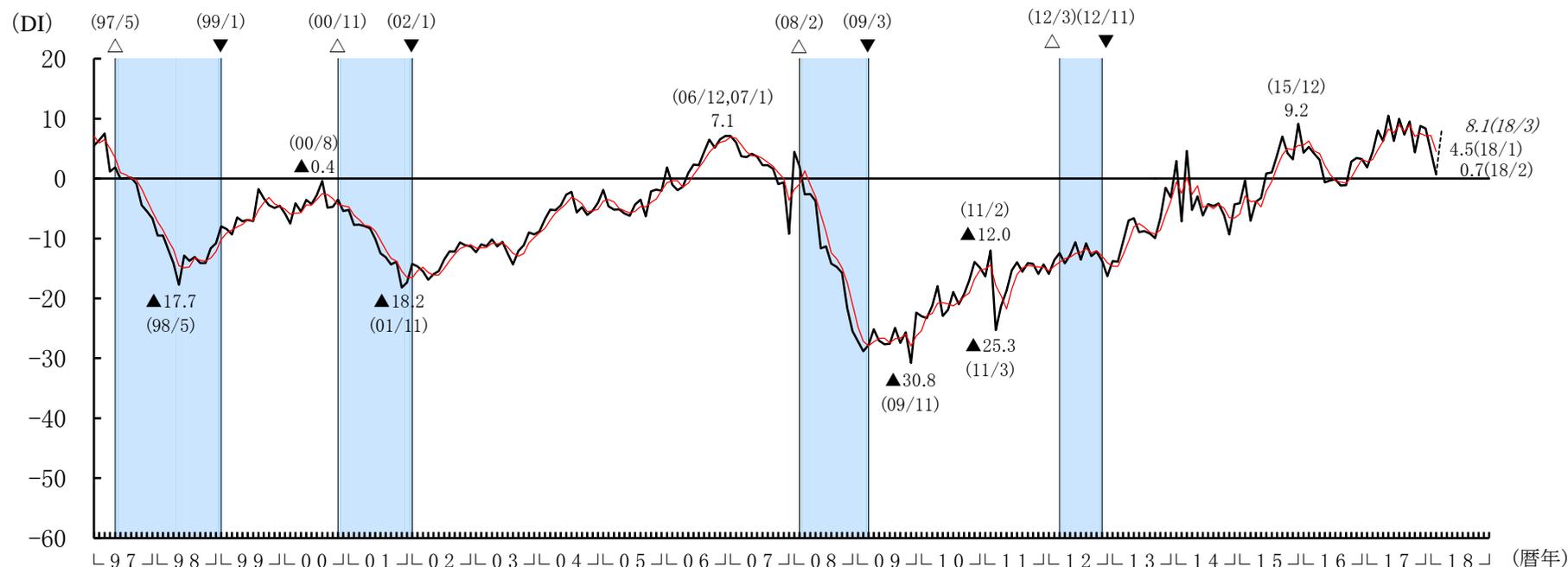
(注) 1 網掛けは、前月から低下した数値。
2 季節調整は業種ごとに行っている。

2 採算

- 2月の採算DIは、1月から3.8ポイント低下し、0.7となった。
- 3月の採算DIは、8.1と上昇する見通しとなっている。

図－3 採算DIの推移（全業種計、季節調整値）

	2017/2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018/1月	2月	3月
実績	4.4	8.1	6.3	10.5	6.3	10.0	7.3	9.5	4.4	8.8	8.4	4.5	0.7	-
見通し	6.5	7.6	6.2	8.8	8.1	11.8	12.2	13.0	8.1	13.6	12.3	14.3	12.5	8.1

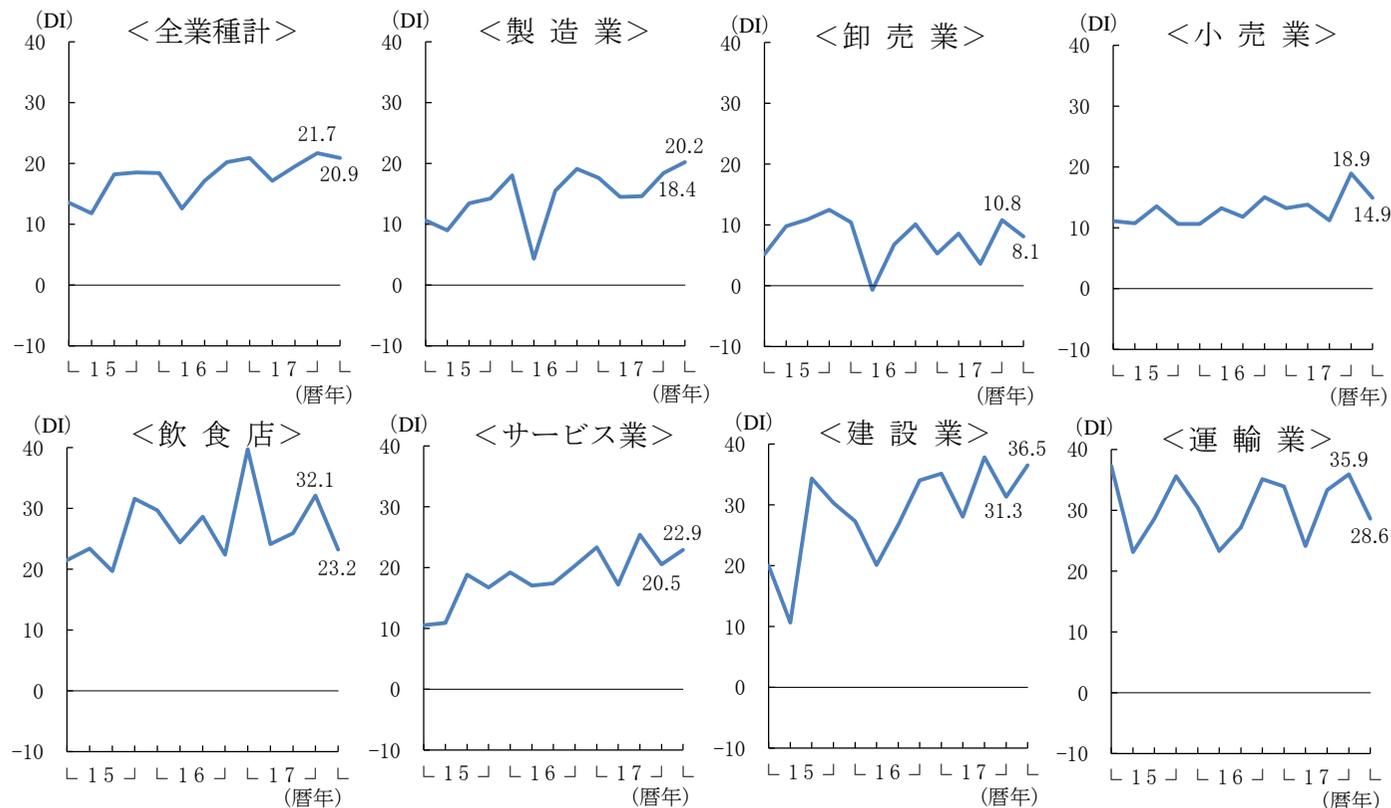


(注) DIは「黒字」企業割合－「赤字」企業割合。

3 雇用

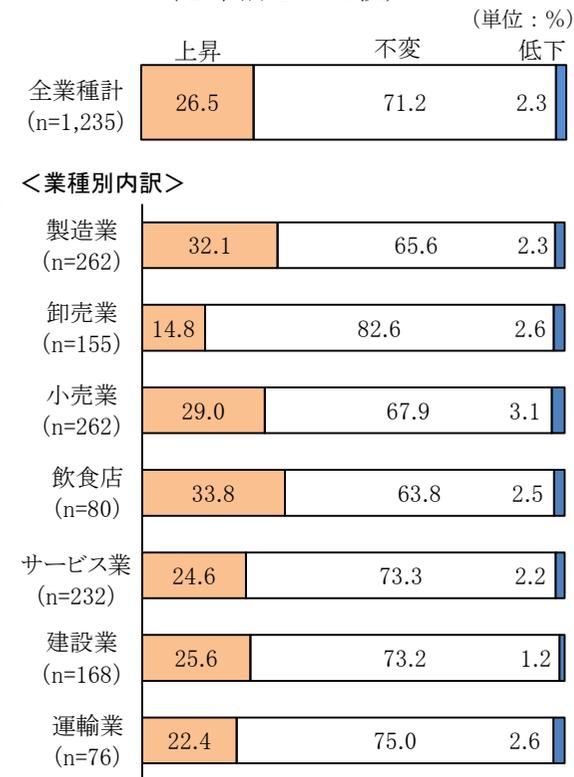
- 従業員過不足DIは、20.9となった。業種別にみると、建設業が36.5と最も高く、次いで運輸業（28.6）、飲食店（23.2）の順となっている。
- 従業員の給与水準が1年前と比べて「上昇」と回答した企業割合は、26.5%となった。業種別にみると、飲食店が33.8%と最も高く、次いで製造業（32.1%）、小売業（29.0%）の順となっている。

図－4 従業員過不足DIの推移



(注) 1 このところ（3カ月程度）の仕事量からみた従業員数の過不足を尋ねたもの。
 2 従業員過不足DIは、「不足」企業割合－「過剰」企業割合。

図－5 給与水準の動向
（1年前との比較）



(注) 定期昇給、昇格・降格による上昇・低下を除いての回答。